

# ひまわりを知るために理解したい3つのこと

## 1. ドラッグストア進化の背景

ドラッグストアの始まりは1800年代。場所はアメリカと言われてい  
ます。生まれたては薬局スタイル(医薬品、医療雑貨、健康食品)で、利便  
性の追求により1900年代のはじめの頃に現在の医薬品や日用  
雑貨を扱う営業形態の店舗が誕生。一方、日本のドラッグストアの歴史  
は世界的に見るとまだ浅く、スタートは1970年代と言われてい  
ます。1970年代の日本といえば高度経済成長期から安定成長期への移行期  
間。好景気による日本国民の所得上昇、インフラ(道路、公共施設、通  
信など)整備による事業拡大と自動車の普及、そして女性の社会進出

で経済全体が豊かになる中で、私たちの生活もより豊かに、より便利  
になります。時代の変化が追い風となり、ドラッグストア業界はヘルス  
&ビューティーの 카테고리キラーとして、また身近な生活便利店とし  
て今日まで右肩上がりの成長を続け、7兆円産業に拡大。そして今後も  
拡大し続け10兆円産業になると予測されています。また、業界は企業  
同士の経営統合により寡占化が進み、益々サービス提供の幅を広げ地  
域に貢献できる業界へと進化し続けています。

## 2. ひまわりの歩み

プブレひまわり創業は1978年。創業当時は医薬品と必要最低限の日  
用雑貨を販売する、いわゆる「薬局」からスタート。創業者が後の運  
命を変える衝撃の体験をしたのが研修先のアメリカ。日本では薬局が  
主流の中、アメリカではその店で生活に必要な消耗品が何でも揃う現  
在のドラッグストアを運営。その新しい概念に衝撃を受け、1993年プ  
ブレひまわりはドラッグストアを展開開始。2005年、常に新しいド  
ラッグストアを追求し、併設エステサロン事業をスタート。2015年以  
降は地域包括ケアを目的として医療モール開発事業をスタートさせま  
した。そして現在、広島県を中心に、岡山県・兵庫県・愛媛県・島根県・

香川県・鳥取県に120店舗以上(2020年1月現在)を展開するド  
ラッグストアチェーンに成長。ドラッグストア事業、調剤薬局事業、エ  
ステサロン事業を3つの柱とし、専門性に特化した店舗も展開してい  
ます。地域の皆様の「キレイになりたい」を叶える「化粧品に特化した  
店舗「サブラス」や食料品のニーズが高い地域には「野菜・食料品に  
特化した店舗「フード&ドラッグ」といった、その地域に今必要とされ  
ている形態に店舗スタイルを変化させ、これまでの「ドラッグストア」  
の枠を超えた新しい形態の店舗運営にチャレンジしています。

## 3. 業界とひまわりのこれから

今後ますます少子高齢化していく日本では、「人生100年時代」の到来  
により医療費が増加すると考えられています。国が提示する対策は大  
きく2つ。1つは、「地域包括ケアシステムの構築」もう1つは、「セルフメ  
ディケーションの推進」です。前者は、医療・介護・民間サービスが連携  
することで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続  
けることが出来る体制を構築すること。そして、後者は自分で自分の  
健康を管理すること。この対策の主役として活躍するのがドラッ  
グストア業界。プブレひまわりには薬剤師、管理栄養士、医薬品登録販  
売者など、健康について専門的な知識を持つ資格者が多く働き、対外

的にも医療・介護事業者とも調剤事業などを通じて幅広く協働してい  
ます。私たちプブレひまわりは、「地域の皆様に必要とされる企業」を  
目指しています。今後は店頭での健康相談を通して、医薬品、健康食  
品などの商品選択と使用方法の情報提供をするほか、自店の商品や  
サービスで解決できないことは、適切な医療機関やその他の団体・事  
業者につなぎ解決に導く、「健康ハブステーション」としての活動も期  
待されています。

